

News release  
20 August 2012

## **Team of prosthetists, orthotists and wheelchair technicians get set to support athletes from around the world at the London 2012 Paralympic Games**

**義肢装具士、車椅子技術者で構成されるオットーボック修理サービスチームは2012年ロンドンパラリンピックに世界中から参加する競技者へのサポートの開始を待っています。**

### **Set up starts on the workshops where the Ottobock Technical Service Team will repair and maintain equipment used by athletes competing at the London 2012 Paralympic Games**

**2012年ロンドンパラリンピックに参加するアスリートが使用する機器の修理とメンテナンスを提供するオットーボック修理ワークショップはスタートの位置に付きました。**

2012年ロンドンパラリンピック競技大会において、車椅子、義肢、装具の公式な修理サービスプロバイダーであるオットーボック社は、競技者がパラリンピック村に到着し、競技開始前に、修理やメンテナンスサービスができるように、本日から3ヶ所のパラリンピック村と9ヶ所の競技会場の修理サービスワークショップの設営を開始しました。

2日間で13トン以上ある修理用の設備機器と15,000のスペアパーツを開梱し、8/22にはワークショップをオープンする予定です。ワークショップでは、競技で使用される補装具（機器や用具）の専門家である80人の義肢装具士や車椅子のエンジニアたちからなる国際的なチームが修理サービスを提供します。また修理サービスチームには、車いすラグビーや車いすバスケットでの激しいぶつかり合いにより車椅子フレームが壊れることに備え、フレームを溶接するスペシャリスト12人も含まれています。

パラリンピック村に到着すると多くのパラリンピアンは最終調整の1つとして、使用する機器が競技に向けて万全であるか確かめる為にオットーボック社の修理サービスセンターにやって来ます。

オットーボック社にはモーターレースのメカニカルのように、パラリンピアンが頼りにする機器の修理とメンテナンスに対する責任があり、できる限り早く選手を競技に復帰させなくてはなりません。オットーボックはベロドローム、ノース・グリニッジ・アリーナ、バスケットボール・アリーナ、ロイヤル・アーティレリ・バラック、グリニッジパーク、エクセル、イートン・ドニー、ブランズハッチの各競技場の直ぐ隣りに修理ブースを設営します。もちろんオリンピックスタジアムにも修理ワークショップを設営し、レースで使用されるハイテク車椅子や世界最速のパラリンピックのスプリンターが使用する競技用板バネ義足を含む、幅広い種類の機器や用具の修理を実施します。

また、マラソンやハンドサイクルのロードレース会場へは移動式の修理ワークショップが配備されます。

簡単なタイヤのパンクから複雑な義足の膝の修理まで、多岐にわたる修理ですが、全てに必要とされるのは技術者の知識とスピードです。全ての競技で起こる機器の問題を解決するために修理チームの技術者には創造的な仕事が必要とされます。

オットーボックは1988年ソウルパラリンピック以来、パラリンピック競技大会のパートナーとして修理サービスを提供してきました。

ロンドンパラリンピックにおけるオットーボック社のテクニカル修理サービスチームは、英国からの15名に加え、オーストラリア、ベルギー、日本、ドイツ、中国、カナダ、アメリカ、スペイン、フランス、ロシア、ポルトガル、メキシコ、スイス、ブラジル、オランダ、シンガポール、アイルランド、アルゼンチンから参加する技術者で構成されています。技術者はパラリンピックの競技者が使用しているあらゆる種類の機器や製品とブランドのスペシャリストとして選ばれていますので、4,200名の競技参加者全てがこの修理サービスを利用することができます。

「オットーボック社はパラリンピック競技大会において修理サービスを提供してきた歴史を大変誇りに思っています。弊社は 1988 年のソウル大会からパートナーとなりましたが、12 回目となる 2012 年ロンドン大会でもまた、全てのパラリンピアンをサポートできる機会が与えられました。弊社は競技者のニーズを把握し、それに答えることができる高い修理技術があるとの自信を持ちサービスを提供していますので、競技者の皆さんは自分のパフォーマンスと競技のみに集中することができます。」とオットーボック社の社長兼 CEO である Professor. Hans Georg Nader は語っています。

「オットーボック社はロンドン大会において競技者に修理サービスを提供するエキスパートチームを準備するのに長い年月を掛けてきました。80 名の最強チームは既に修理サービスの準備を整えています。忙しい毎日になると思いますが、それはまたやりがいのある経験ともなるでしょう。パラリンピック競技者が全力投球で競技をすると、使用する機器にもまた大きな負荷がかかります。その結果、私たちのもとにはさまざまな要求をもった競技者がやってくると思いますが、世界的に知られているオットーボックの迅速かつ最高のサービスをもってそれに答える準備ができています。」と 2012 年ロンドン大会におけるオットーボック修理サービスのリーダーの一人であるテクニカルダイレクターの Ken Hurst は語っています。



#### 写真キャプション：

オットーボック・ヘルスケア社はパラリンピック村に 6,500 平方フィート（約 600 m<sup>2</sup>）の修理ワークショップを準備し、パラリンピアンへの到着を待っています。公式修理サービスプロバイダーであるオットーボック社は、13 トン以上もある修理サービス用の設備機器を設置し、開会式の 1 週間前から修理サービスを提供できるように準備しています。（ご希望に応じてその他の写真も提供いたします。）

#### オットーボック・ヘルスケア社について

オットーボック社は人々が失ったモビリティ（運動機能）を取り戻し、再度自立できるようサポートするために、高品質で革新的かつ実践的なソリューションを提供する世界的なリーディングカンパニーです。モチベーションとスキルを持った専門家チームにより、適切なアドバイス、製品販売、サービス、サポートを提供しています。オットーボック社のソリューションは身体的な快適さ、自信、個々人のモビリティをさらに高めてゆきます。オットーボック社の目指すものは、最新のテクノロジーと最先端の製品、サービスにより、お客様に可能な限り最良な成果を提供することです。

オットーボック社は 2012 年ロンドンパラリンピック競技大会において義肢、装具、車椅子のテクニカル修理サービスを提供する公式プロバイダーです。1988 年からパラリンピック競技大会のパートナーとして 30 年以上、スポーツやリクリエーションに参加する障害を持った人々をサポートしてきました。また、オットーボック社は 2005 年から国際パラリンピック協会との契約により、パラリンピック活動の公式なワールドワイド・パートナーとなっています。

詳細なプレス情報や写真のご希望、ストラットフォードのパラリンピック村にあるオットーボック社のメイン修理サービスセンターへの取材予約は下記までご連絡ください。

（修理サービスセンターへの取材はア krediy を取得しているメディアの方に限られます。）

Charlotte Rowland / Jon Wilcox  
Media Safari  
T: +44 (0)1225 471202  
E: [charlotter@mediasafari.co.uk](mailto:charlotter@mediasafari.co.uk)

Anna Parisi  
Manager – PR and Partnerships  
London 2012 Paralympic Games  
Ottobock Healthcare  
T: +44 (0)7584 162563  
E: [anna.paris@ottobock.com](mailto:anna.paris@ottobock.com)

また、下記にご連絡をいただけましたら、ロンドンの現地スタッフと連絡をとり、取材の予約や資料の提供などのご協力をさせていただきます。

オットーボック・ジャパン（株）赤松、樋詰、佐竹 TEL:03-3798-2113 E-Mail: [ottobock@ottobock.co.jp](mailto:ottobock@ottobock.co.jp)